

令和 8 年度

岩手大学農学部

総合型選抜Ⅱ 学生募集要項

出願受付期間	令和 7 年 12 月 4 日 (木)～令和 7 年 12 月 10 日 (水)
面接試験日	令和 7 年 12 月 26 日 (金)
合格発表	令和 8 年 2 月 10 日 (火)

岩手大学農学部総合型選抜Ⅱの出願関係書類は、
本要項には含まれておりません。
資料請求ページから取り寄せてください。

(ホーム>入試情報TOP>学部入試)
<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/request/info.html>



岩 手 大 学

目 次

1	岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部	1
3	募集人員	7
4	出願資格	7
5	出願手続	7
6	選抜方法等	9
7	受験上の注意	10
8	不正行為	11
9	合格者の発表	11
10	入学手続等の概要	12
11	合格者の留意事項	12
12	障がい等を有する入学志願者との事前相談	13
13	受験者に対する調査書の開示	14
14	長期履修制度	14
15	個人情報の取り扱い	15
16	出願書類等の記入要領	16
17	建物配置及び試験場案内図	20

1 岩手大学入学者受入の方針（アドミSSION・ポリシー）

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- ・ 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- ・ 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- ・ 自然や人を思いやる心と倫理性
- ・ 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

入学者の選抜は、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ・私費外国人留学生選抜）、学校推薦型選抜の各選抜区分により実施します。（編入学試験を除く。）

選抜にあたっては、学力の3要素（(1)知識・技能、(2)思考力・判断力・表現力等の能力、(3)主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度（主体性・多様性・協働性））を多面的、総合的に評価します。

2 入学者受入の方針（アドミSSION・ポリシー）：農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 学びで得た知識や経験、理論や技術を、明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学、情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し

ます。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【食料農学科】

1 学科概要

食料農学科では、人類の生存基盤である食料の生産とそれを基にした食品に関わる知識と技術の教育と研究を行い、地域・国際社会での食料生産、食品供給、健康分野における課題解決や新しい価値の創出を通じて、健康で持続的な食料と食品の生産・供給を担う人材を育成します。

2 コース概要

<農学コース>

農学コースでは、農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全、植物の生産性・機能性の向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術の開発、食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育・研究を通じて、持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材を育成します。

<食品健康科学コース>

食品健康科学コースでは、食材や食品、その成分の物理的・化学的特性、高度な食品加工に関する知識や技術、食品、栄養および天然資源の健康機能性などに関わる教育・研究を通じて、国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<農学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 農作物や農業生物を有益な資源として生かすために技術を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

<食品健康科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 食品素材の特性の解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食品・栄養成分、天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

【生命科学科】

1 学科概要

生命科学科では、生命科学、すなわち植物学・動物学・微生物学・健康科学など様々な学問の基礎的かつ共通部分における分子レベルでの知識と理解をベースに、様々な問題を解決し教育に展開することで、地球環境問題の解決、種の多様性の次世代への保存、健康寿命の延長など、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を育成します。

2 コース概要

<分子生物機能学コース>

分子生物機能学コースでは、微生物、植物、昆虫、動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元することで、自ら発想し行動する力、独創性ならびに柔軟な対応力を養成し、グローバル化する社会でその力を発揮できる、自律性や判断力を持つ人材の養成を行います。

<分子生命医科学コース>

分子生命医科学コースでは、微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解明し、その知見を健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<分子生物機能学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 微生物、植物、昆虫、動物などの生物機能を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 生物機能に関する知識を習得し、実験、研究科目を学ぶ中で、自ら発想し行動できる人
- ・ 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

<分子生命医科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生物多様性の重要性、感染症や疾患、老化現象を分子レベルで学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命現象の分子レベルで解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人

- ・ 生命科学に関わる諸問題に取り組み、活躍することができる人

【地域環境科学科】

1 学科概要

地域環境科学科では、持続可能な食と農の科学、地域生態系の保全、森林資源の管理と持続的な利用、持続的農業生産と環境管理、農業インフラの整備、スマート農業システムの導入、グリーントランスフォーメーションについて、地球環境問題とSDGs達成を念頭に置いた教育を介して、未来の農林業を担う人材を育成します。

2 コース概要

<革新農業コース>

革新農業コースでは、農業と食を切り拓く革新的な農業技術について総合的に学びます。これをもとに、グローバルな視点と高度な専門知識を備えて地域農業を先導するとともに、持続可能な食料・農業・農村システムの実現に向けた取り組みを通じてSDGs達成に貢献できる人材を育成します。

<森林科学コース>

森林科学コースでは、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<革新農業コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産インフラ整備と農村環境の保全、地域のネットワークづくりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ スマート農業、次世代型食料システムの創出に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ スマート農業、持続的な食料供給システムと資源の有効利用に関する最新技術を学ぶ意欲のある人

<森林科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

【動物科学・水産科学科】

1 学科概要

動物科学・水産科学科では、畜産物および水産物の生産と供給を担う2つの産業基盤を背景とした教育・研究を行うとともに、野生動物や海洋生物の生理・生態とそれらの有益な利用方法に関する知識および技術の教育・研究を行い、動物・水産資源の安定的な生産と供給、その高度利用に貢献する人材を育成します。

2 コース概要

<動物科学コース>

動物科学コースでは、産業動物生産（畜産）と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤とし、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用などを通じて、人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材を育成します。

<水産システム学コース>

水産システム学コースでは、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤とし、水産資源の生産（漁獲、増養殖）から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育し、釜石キャンパスを活用することで、三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<動物科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

<水産システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 高い倫理観を持ち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型 編入学	文章を客観的に読解把握する力，内容に対する自らの考え方を述べる力，農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	複数の面接担当者による個人面接を行います。また，基礎学力を確認するために，口頭試問を行います
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し，面接時に評価します。
調査書＊	一般（前期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	学習の記録を中心に総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の3要素・評価項目		(1)知識等	(2)思考力等	(3)主体性	
		知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
入学者選抜方法					
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型 編入学	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	○	○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書＊	一般（前期）			○	○
	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

＊一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）において調査書は，高大接続及び学力の3要素評価の観点から，総合判定の資料として活用します。

3 募集人員

学科・コース		募集人員
食料農学科	農学コース	3名
	食品健康科学コース	2名
生命科学科	分子生物機能学コース	2名
	分子生命医科学コース	2名
地域環境科学科	革新農業コース	5名
	森林科学コース	3名
動物科学・水産科学科	水産システム学コース	2名

4 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、農学分野の学修に深い関心と意欲を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (3) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和8年3月31日までに合格見込みの者〔同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。〕で、令和8年3月31日までに18歳に達する者

5 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、(4)の出願書類等を取りそろえ、所定の出願書類等提出用封筒に入れて「速達書留」で郵送してください。なお、持参による出願は認めません。

(2) 出願書類等送付先

岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

(3) 出願受付期間

令和7年12月4日（木）から12月10日（水）まで【必着】
出願書類の提出は郵送のみとします。郵送にかかる日数を十分に考慮し出願してください。

(4) 出願書類等

①志願票	- 所定の用紙に志願者本人が記入してください。志願票は、電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。 16ページ以降の記入要領を参照してください。
②写真票・受験票・入学検定料納入確認票	- 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 - 太枠線内に、志願者本人が記入してください。 - 検定料17,000円（別途払込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ず<u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口</u>で払い込んでください。（ATMは使用しないでください。） - 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上、所定の欄に貼ってください。 - 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 （注）災害救助法適用地域における志願者の検定料免除については、「〔7〕検定料免除」を確認してください。
③調査書	- 文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 - 指導要録の保存期間終了、廃校、被災、その他の理由によって調査書が提出できない場合は、卒業証明書と成績証明書又は単位修得証明書等を代わりに提出してください。 なお、成績証明書又は単位修得証明書等を提出できない場合は、出身高等学校等を所管する教育委員会、知事もしくは出身高等学校長が作成した「証明書が発行できない旨の文書」を提出してください。
④出願理由書	所定の用紙に、これまでの経験・実績、興味・関心事項に基づいて、岩手大学農学部への進学を希望する理由、大学で勉強する適性と意欲を備えていることを記述してください。また、大学卒業後の進路・希望等も記述してください。
⑤受験票送付用封筒	所定の封筒に志願者本人のあて先を明記し、410円分の切手（速達料金）を貼ってください。 ※ 郵便料金が改定された場合は、料金改定後の郵便切手が必要になりますので注意してください。
⑥ラベル票	- 所定のラベル票用紙に必要な事項を志願者本人が記入してください。 19ページの記入要領を参照してください。
⑦その他書類	検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書と必要な書類をそろえて提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 受理した出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類等に次のような不備のあるものは受理しませんので、注意してください。
 - ア 記入漏れ、誤記入のあるもの
 - イ 検定料に不足のあるもの
 - ウ その他、提出すべき書類等が添付されていないもの
- ③ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(6) 受験票の交付

出願書類が受理された志願者には、受験票を交付します。受験票が令和7年12月17日（水）を過ぎても到着しない場合は、岩手大学学務部入試課（☎ 019-621-6064）に問い合わせてください。

(7) 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。出願手続きの際一緒に申請手続きを行ってください。申請手続等、詳細については、岩手大学ウェブサイト <https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/exemption.html> で確認してください。

6 選抜方法等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、本学において実施する個別学力検査を免除し、大学入学共通テスト、面接及び出願書類を総合して判定します。

面接では、出願書類の内容および農学的な視点から「思考力・判断力・表現力」,「関心・意欲・態度」,「主体性・協働性」に関して質疑応答し、農学部入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）に適合するかなどを総合的に評価します。面接での評価が著しく低い場合は、総得点に関わらず不合格とすることがあります。

(2) 大学入学共通テストの利用教科・科目

【食料農学科、生命科学科、動物科学・水産科学科】

教科	科目名等
国語	「国語」
地歴 公民	「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」,「地理総合／歴史総合／公共」, } から 1 「公共、倫理」,「公共、政治・経済」
数学	① 「数学Ⅰ、数学A」,「数学Ⅰ」 から 1 ② 「数学Ⅱ、数学B、数学C」
理科	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から 2
外国語	「英語」(リスニングを含む),「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 から 1
情報	「情報Ⅰ」

【地域環境科学科】

教科	科目名等
国語	「国語」
地歴 公民	「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」,「地理総合／歴史総合／公共」, } から 1 「公共、倫理」,「公共、政治・経済」
数学	① 「数学Ⅰ、数学A」,「数学Ⅰ」 から 1 ② 「数学Ⅱ、数学B、数学C」
理科	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から 2
外国語	「英語」(リスニングを含む),「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 から 1
情報	「情報Ⅰ」

注) 地域環境科学科では、6教科8科目の受験を必要とし、「理科」の第1解答科目の成績を必ず利用し、残りの2科目は6教科7科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

(3) 配点

学科	大学入学共通テスト								面接	計
	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	情報		
			数学①	数学②						
食料農学科, 生命科学科, 動物科学・ 水産科学科	200	100	100	100	100	100	200	50	200	1150

学科	大学入学共通テスト								面接	計
	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	情報		
			数学①	数学②						
地域環境科学科	100	100	100	100	200	100	100	100	100	500

備考 1 大学入学共通テストについて

① 「地理歴史，公民」（旧教育課程履修者は『「地理歴史」，「公民」』）から2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を利用します。

② 外国語のうち「英語」の配点については以下のとおりです。

【食料農学科，生命科学科，動物科学・水産科学科】

リーディング（100点満点）の成績を160点に換算，リスニング（100点満点）の成績を40点に換算して，合計得点を利用します。

なお，リスニングを免除された者については，リーディング（100点満点）の成績を200点に換算して利用します。

「英語」以外の科目を受験した者は筆記試験（200点満点）の成績をそのまま利用します。

【地域環境科学】

リーディング（100点満点）の成績を80点に換算，リスニング（100点満点）の成績を20点に換算して，合計得点を利用します。

なお，リスニングを免除された者については，リーディング（100点満点）の成績をそのまま利用します。

「英語」以外の科目を受験した者は筆記試験（200点満点）の成績を100点に換算して利用します。

2 受験を要する教科・科目の詳細については，9ページ「(2) 大学入学共通テストの利用教科・科目」を参照してください。

注) 地域環境科学科では，6教科8科目の受験を必要とし，「理科」の第1解答科目の成績を必ず利用し，残りの2科目は6教科7科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

(4) 面接日程

9時までに試験場に集合してください。(20ページの17 建物配置及び試験場案内図参照)

試験日	事項	時間	試験場
令和7年12月26日（金）	面接	9：30～	岩手大学農学部

※面接の終了時刻は，受験者数によっては17時を過ぎることもあります。

7 受験上の注意

(1) 面接試験日は「本学の受験票」を必ず携帯し，係員の請求があった場合は，これを提示してください。

また、「令和8年度大学入学共通テスト成績請求チケット（国公立総合型選抜用）」を持参してください。

- (2) 試験場には駐車場はありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (3) 試験場の下見は12月25日（木）としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 試験場では携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類の使用を認めませんので、必ず電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず身につけていたり手に持っていたりすると、不正行為となる場合があります。
- (5) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (6) 集合時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、集合時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。
- (7) 試験場で不正行為を行った者や、監督者の指示に従わない者には退場を命じ、受験結果を全て無効とします。
- (8) 昼食が必要な者は各自で用意し、受験者控室で食事を行うことができます。

8 不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 志願票・写真票・受験票・入学検定料納入確認票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。（写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等）
- ② カンニングをすること。（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

- (2) (1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

9 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時	発表方法
令和8年2月10日（火） 15時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

注 可否の問い合わせには、一切応じません。

10 入学手続等の概要

入学手続等の概要は、次のとおりとし、詳細については合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

(1) 入学手続締切期日

令和8年2月18日（水）【必着】

(2) 大学納付金

① 入学料 282,000円（予定額）

② 授業料 年額 535,800円〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕（予定額）

※ 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(3) 入学料及び授業料の免除等制度

本学では、下記のとおり入学料及び授業料の免除等を実施しています。

詳細は本学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/fee/exemption.html>) をご覧ください。

① 高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除

高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除を実施します。

② 入学料の徴収猶予

経済的理由によって入学料の納入が納入期限までに困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、入学前1年以内に、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

③ 特別な事情による免除

入学前1年以内に、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、入学料や授業料の一部または全額を免除することがあります。

(4) その他の経費（令和7年4月現在）

① 学生教育研究災害傷害保険料（賠償責任保険含む）

学部4年間 4,080円

② 後援会、同窓会費等の諸会費 60,000円

※ 上記の①の保険は、全員加入を原則としています。

11 合格者の留意事項

(1) 本学の総合型選抜Ⅱに合格した者は、原則として入学辞退は認められません。

(2) 本学の総合型選抜Ⅱに合格し入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学を受験しても、その大学の合格者とはなりません。（特別の事情により入学辞退を認められた者を除く。）

(3) 入学手続を完了した者が特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続き完了者本人が令和8年2月18日（水）までに岩手大学長あてに「総合型選抜Ⅱ入学辞退願」を提出し、許可を得なければなりません。

12 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和7年11月5日（水）までに「事前相談について」（所定様式）を提出してください。「事前相談について」（所定様式）は、本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html>）からダウンロードしてください。なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

提出先
岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

		令和 年 月 日	
岩手大学長 殿			
氏 名		(志願者との関係)	
住 所			
電話番号		— —	
事前相談について			
下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。			
記			
1 志願者氏名			
ふりがな 氏 名	男・女	生 年 月 日	年 月 日生
現住所	〒 — 電話 — —		
出身学校名	電話 — —		
2 志望学部等名			
学部・学科等	学部 学科・課程 コース		
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型 私費外国人 前期日程 後期日程
3 障がいの種類・程度			
4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容			
5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容			
6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮			
7 日常生活の状況			
8 添付書類			
(1) 健康診断書			
(2) その他			
注1 出身学校関係者等が記入してください。			
注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。			
注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。			
注4 健康診断書等の書類は、写しで構いませんので、必ず添付してください。			
注5 ※欄には記入しないでください。			
※ 大学記入欄			

13 受験者に対する調査書の開示

本学では、受験者本人（合格・不合格の選考結果を問わず、全受験者を対象とします。）の申請により、出身学校長から提出のあった調査書を次のとおり開示します。

- (1) 申請期間 令和8年5月1日（金）から令和8年6月30日（火）まで【必着】
- (2) 申請方法 次の①～③の書類をとりそろえ、ア又はイのいずれかの方法により、受験者本人が申請してください。

- ① 本学の受験票（原本）
- ② 入試情報開示申請書（所定の用紙）
- ③ 返信用封筒（長形3号。590円分の切手（書留料金）を貼り、本人の郵便番号、住所、氏名を明記してください。）

※ 受験票は原本を同封してください。なお、受験票は開示内容とともに返送します。

※ 上記書類に不備のある場合は、調査書を開示できませんので、注意してください。

※ 入試情報開示申請書用紙は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/disclosure/result.html>

ア 岩手大学学務部入試課窓口での申請受付時間は月曜日から金曜日の9時から16時までです。（祝日は除く）

イ 郵送による申請

「入試情報開示請求」と朱書きした封筒に、上記①～③の書類を入れて、岩手大学学務部入試課まで「簡易書留」で郵送してください。

- (3) 申請先
岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
- (4) 開示内容 出身学校長から提出のあった調査書（「総合的な探究の時間の内容・評価」, 「特別活動の記録」, 「指導上参考となる諸事項」及び「備考」の欄を除きます。）
- (5) 開示方法 申請書受理後1ヶ月以内に、調査書の写しを郵送します。

14 長期履修制度

職業を有しているなどの事情（注1）によって、修業年限である4年を超えて、一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。この制度の適用学生の授業料総額は、修業年限（4年）で卒業する学生が納める授業料総額と同額となります。なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

注1）該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上勤務者で6月以上の継続雇用者）

② 家事従事者又は育児にあたっている者

③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者

④ その他、本学が適当と認める者

注2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

注3）詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）に問い合わせてください。

15 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

16 出願書類等の記入要領

出願書類等は、このページ以降の記入要領等をよく読んで、志願票はHBのシャープペンシル（0.5mmしん）を、志願票以外の用紙は黒のボールペンを使用し、楷書で明確に、欄からはみ出さないように丁寧に記入してください。

ただし、※印の欄は記入しないでください。誤って記入した場合は、修正液等は絶対に使用せず、以下の方法で修正してください。

- ① 志願票はプラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- ② 志願票以外の用紙については、誤って記入した部分を二重線で抹消し、その上部余白に正しいものを記入してください。

1 志願票記入要領

- ◎ 志願票は、HBのシャープペンシル（0.5mmしん）を使用し、濃く、丁寧に枠をはみ出さないように「志願票の正しい書き方例」（以下正しい書き方例）（18ページ）を参照しながら記入してください。
記入を誤った場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから正しく書き直してください。

- ① 志望学部・学科・コース
志望する学科・コースを記入してください。
- ② 出願区分
農学部志願者は未記入のまま提出してください。
- ③ 学部・学科等コード
志望する学部・学科等コードは、19ページ又は、志願票裏面の学部・学科等コード表の該当するコードを正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。
- ④ 氏名
氏名（略字等は用いないでください。）を漢字とカタカナで記入してください。姓と名の間を1マスあけて、丁寧に記入してください。
- ⑤ 性別
該当する数字を正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。
- ⑥ 生年月日
生年月日を正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。数字が1桁の場合は、右側に記入し、左側には、「0」（ゼロ）を記入してください。
- ⑦ 学校名
学校名を記入し、該当する文字を○で囲んでください。ふりがなは、ひらがなで記入してください。
- ⑧ 高等学校コード
7月下旬に本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html>）に「高等学校等コード表」を掲載しますので、該当するコードを確認の上、正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。
- ⑨ 高等学校等の課程・学科
該当する区分の数字を正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。学科が7（1～6以外の学科）の場合は、当該学科名を記入してください。
- ⑩ 志願者の略歴
高等学校等名、入学及び卒業（見込）年月を記入してください。
高等専門学校3年次（修了見込者）は、「1」を記入してください。
□の中に記入する数字については、正しい書き方例（18ページ）を参照してください。
- ⑪ 連絡先
志願者及び保護者の住所・電話番号等を記入してください。電話番号は、本人と連絡がとれる番号を記入してください。
出願後、連絡先に変更が生じた場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

志願票記入例

令和8年度岩手大学総合型選抜Ⅱ志願票

※
HBのシャープペンシル(0.5mmしん)で
岩手大学の個人情報の取り扱いに同意し、志願します。記入してください。

※大学記入欄	88 888888	
① 志望学部・学科・コース	農学部 食料農学科 農学コース (獣医学部志願者は、コース名は未記入のまま提出してください。)	
② 出願区分	☐ 一般枠 ☐ 地域枠 農学部志願者は出願区分欄は未記入のまま提出してください。獣医学部志願者のみ“✓”を記入してください。	
③ 学部・学科等コード	MA 本志願票裏面の学部・学科等コード表を確認の上、記入してください。	
④ 氏名	*姓と名の間を1マスあけ、丁寧に記入してください。 カナ カ ン ダ イ ハ ナ コ 漢字 岩 大 花 子	
⑤ 性別	1 男 2 女 2	⑥ 生年月日 2007 年 06 月 01 日
⑦ 学校名	ふりがな もりおか だいなな 国立 公立 私立 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 高等専門学校 ⑧ 高等学校コード 98765C	
⑨ 高等学校等の課程・学科	1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他 1 1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 1～6以外の学科 1 7の場合の学科名	
⑩ 志願者の略歴	2023 年 4 月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 入学 高等専門学校 2026 年 3 月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 1 卒業見込 2 卒業 1 高等専門学校	
⑪ 連絡先	志願者住所等 ふりがな いわて もりおか きたかみどおり (〒020-8550) 岩手 都・道・府・県 盛岡市北上通1-2-3 電話番号(019)-(621)-(6064) 携帯電話番号(090)-(△△△△)-(□□□□) 保護者住所等 ふりがな (〒 -) 都・道・府・県 同上 電話番号(019)-(621)-(6064) 携帯電話番号(080)-(XXXX)-(□□□□) 保護者氏名 岩大 一郎 志願者との続柄 父	

志願票の正しい書き方例

正しい書き方例



個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

(1) 数字			
○	輪を大きく円にしない	○, ○ 等は不可	注 5 縦線を突き出す 5, 5 等は不可
1	垂直にまっすぐに	/, 1 等は不可	6 線を長く輪はつなぐ 6, 6 等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2 等は不可	7 カギをつけ脚は垂直に 7, 7 等は不可
注 3	中央を突き出す	3, 3 等は不可	注 8 交点を X に下の円を大きく 8, 8 等は不可
4	線は十分長く	4, 4 等は不可	9 輪はつなぎ縦線は長くのぼす 9, 9 等は不可
(2) 英文字			
A	線をつなぎ足は左右対称に	A, A 等は不可	M 縦線は均等にくぼみは中央に M, M 等は不可
注 B	間隔は均等に線を突き出す	B, B 等は不可	N 縦線は平行につなぎをはみださない N, N 等は不可
注 C	湾を深く傾けない	C, C 等は不可	P 曲線は上部から中央まで P, P 等は不可
注 D	線をつなぎ横線を突き出す	D, D 等は不可	Q 輪を大きく下部の曲線もなめらかに Q, Q 等は不可
E	バランスよく線を突き出さない	E, E 等は不可	R 線をつなぎ斜線は縦線の中央から R, R 等は不可
F	上の線を長く飾りをつけない	F, F 等は不可	注 S 終端にカギをつける S, S 等は不可
注 G	線をつなげず中央に間隔をあける	G, G 等は不可	T 左右均等に飾りをつけない T, T 等は不可
H	縦線は平行に横線はたるまない	H, H 等は不可	U 横線と縦線は垂直に U, U 等は不可
J	横線はまっすぐ曲線はなめらかに	J, J 等は不可	X 線の長さは均等に傾きは 45 度 X, X 等は不可
K	分岐点は縦線の中央に交点をつける	K, K 等は不可	Y くぼみをはっきりと縦線は長く Y, Y 等は不可
L	縦線と横線を直角にする	L, L 等は不可	Z 斜線の中央に横線をつける Z, Z 等は不可

1 志願票は、次の要領で記入してください。

- (1) ※印の欄は記入しないでください。
- (2) 志願票の□の部分には、上記の「正しい書き方例」にならって丁寧に英数字を記入してください。
- (3) 漢字は正しく楷書^{かいしょ}で、記入してください。

2 志願票は、必ず、HBのシャープペンシル（0.5mmしん）で濃く丁寧に記入してください。

3 志願票に記入する文字は、「正しい書き方例」によります。

これ以外の書き方では「光学式文字読取装置（OCR装置）」で読みとれませんので注意してください。

4 誤って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。

5 志願票は、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

6 志願票の記入事項と記号（英数字）の記入内容を必ず一致させてください。異なっている場合は、記号（英数字）を正しいものとして処理しますので注意してください。

2 写真票・受験票・入学検定料納入確認票記入要領

太線枠内に，志願者氏名（ふりがなは，ひらがなで記入してください。）を記入してください。

3 ラベル票記入要領

① 出願受付用

学部・学科等コード，志願者氏名（ふりがなは，ひらがなで記入してください。）を記入してください。

② 合格者通知用

合格通知書を受け取る場所とし，郵便番号，住所，志願者氏名を記入してください。なお，出願書類提出後に変更があった場合は，速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

4 学部・学科等コード

学科・コース		コード
食料農学科	農学コース	MA
	食品健康科学コース	MB
生命科学科	分子生物機能学コース	MC
	分子生命医科学コース	MD
地域環境科学科	革新農業コース	ME
	森林科学コース	MF
動物科学・水産科学科	水産システム学コース	MH

17 建物配置及び試験場案内図

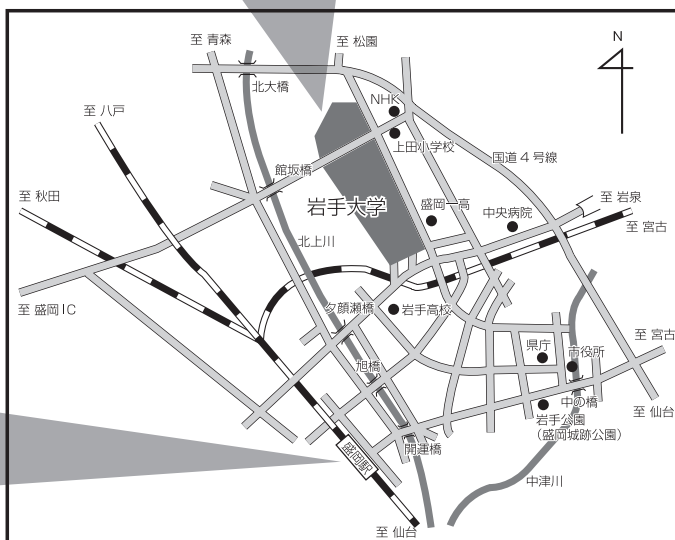
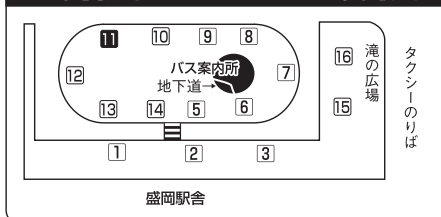
キャンパスマップ
全体図はこちら



学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き 「岩手大学前」下車
教 育 学 部	・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き 「岩手大学前」下車
農 学 部	・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き 「岩手大学前」下車
獣 医 学 部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き 「上田四丁目」下車 ・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き 「理工学部東口」下車

※ 本町、山岸、洞清水経由のバスには乗車しないでください。
 注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。
 注2) タクシー利用の場合
 盛岡駅「タクシーのりば」から約10分、料金は1,300円程度です。
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスのりば案内図



岩手大学への各種問い合わせについては下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで

※ただし、祝日、全学休業日(8/8～8/17, 12/27～1/4)
は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験等に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課

☎ 019-621-6064

★奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6062

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6506

☎ 019-621-6882

★学生寮に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6060

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課

☎ 019-621-6031

岩手大学ウェブサイト

<https://www.iwate-u.ac.jp/>